



JR東労組ステーションサービス協議会第6回定期総会 2017年度に勝ち取った大きな成果を確認し 今後の奮闘を約束！

4月16日JR東労組ステーションサービス協議会は、本部大会議室において、45名の仲間が結集して第6回定期総会を開催しました。9名から発言を受け、これまで取り組んできた「労働環境・労働条件の向上」を目指し、安全で働きがいのある職場を自らの手づくり出すことを満場一致で確認しました。

17春闘では、JR東労組ステーションサービス協議会の発足後初となる「ベースアップ1000円」を勝ち取ってきました。さらに、夏季手当「2・28ヶ月プラス3万円」、年末手当「2・56ヶ月プラス3万円」、対前年0・02ヶ月の増額「年間5・20ヶ月」という、過去最高の支給をJR東労組の団結力と交渉力で勝ち取ることができました。

また、昨年10月に高尾山ハイキングをおこない、交流と親睦を深め、職場での業務の問題点や日頃の悩みを出し合い、組合員同士の横の繋がりを強化しました。

会社から、1月に「新たな人事・賃金制度」を提案されたことを受け、組合員からの要求に基づき「解明要求」「第2次解明要求」「基本

要求」と3本の申し入れをおこない、要求を実現するために団体交渉をおこないました。その中で、毎年の定期昇給の実現、調整額を基本給に反映するなどの成果が確認できます。



さらに、「安全を大前提とした人事・賃金制度」とし、安全を職場に根付かせていくことを労使共通の認識として確認しました。

今後は、「新たな人事・賃金制度」を検証し、職場の組合員とともに、「安全で働きがいのある職場」を目指します。そして、新規採用者及び未加入者の組織拡大をおこない、JR東労組ステーションサービス協議会の旗の下で、強固な団結力をもって諸問題を解決するために奮闘していきます。
(JR東労組ステーションサービス協議会発)

2018年度役員(三役のみ・敬称略)

議長 笛木 潤(大宮駅務管区)
副議長 切通 一仁(新浦安駅務管区)
山田 憲宏(品川駅務管区)
松本真之介(上野駅務管区)
事務長 矢作 正志(新浦安駅務管区)

第27回 情報コンクール

4月26日に審査委員会を開催しました。審査対象となる機関数は昨年よりも減少したものの、時節に合わせた情報を掲載する優れた作品が多数見受けられました。「組合員は、今だからこそスピーディに真の情報を欲している」との声もあり、情報発信の必要性が再確認されました。

136機関の情報誌を審査し、以下のとおり各賞を決定しました。
受賞機関は、JR東労組第36回定期大会で表彰します。

支部の部	最優秀賞	該当なし	地本推薦特別賞	盛岡地本	八戸運輸区分会
	優秀賞	上野支部		秋田地本	弘前運輸区分会
	優秀賞	品川支部		仙台地本	左沢線営業所分会
	努力賞	山形支部		水戸地本	勝田車両センター分会
分会の部	努力賞	大宮支部		千葉地本	千葉運輸区分会
	最優秀賞	大崎運輸区分会	東京地本	東京通信技術センター分会	
	優秀賞	青森運輸区分会		横浜地本	横浜支部
青年部の部	努力賞	盛岡新幹線車両センター分会		八王子地本	立川車掌区分会
	最優秀賞	大宮地本青年部	大宮地本	さいたま車両センター分会	
	優秀賞	東京地本青年部		高崎地本	新前橋運輸区分会
部会・分科会の部	努力賞	東京車掌区分会青年部	新潟地本	地本青年部	
	最優秀賞	該当なし		長野地本	長野総合運輸区分会
	優秀賞	盛岡新幹線運輸区分会車掌分科会	長野地本		
サークル・その他の部	努力賞	大宮地本運車部会			
	努力賞	高崎地本運車部会			
サークル・その他の部	最優秀賞	北磐塾(盛岡)	JR東労組ステーションサービス協議会		
	優秀賞				
	努力賞				



多くの機関からの応募ありがとうございました。
情報・宣伝活動を充実させ、組織強化につなげよう！

JRバス 関東本部

第5回団結ゴルフ大会開催！

JRバス関東本部は4月9日、茨城県等間市JMC等間ゴルフクラブで組合員とOB総勢35名で「第5回団結ゴルフ大会」を開催しました。絶好のゴルフ日和のなかプレーを通じて他分会の仲間との交流を楽しみました。

実行委員を担ったバスセンタ1分会斉藤分会長は「多くの脱退によってJR東労組が危機を迎えているなかで、今こそ組合員がレクで一つになろう」とレクの重要性を訴えました。また、表彰式で遠山議長は「3月30日からJRバス関東でも脱退が始まっている。今こそ全17分会が、最大の警戒心を高め、団結を強化していこう」と挨拶しました。

JRバス関東本部はこれからは「安全・健康・働きがいがあり社会に貢献するJRバス」を目指して奮闘します。
(JRバス関東本部発)

【大会結果】(敬称略)
優勝 海野 孝司 バス土浦
準優勝 深谷 裕一 バス棚倉
3位 大和田 進 バス佐野



中央執行部員の指定について

4月19日の第15回中央執行委員会で、中央執行部員を2名新たに指定しました。よろしくお願いします。

組織担当部長 田崎 聡 (大宮地本)
業務担当部長 長谷 理生 (千葉地本)

第333回政経フォーラム(4月20日)

ITとAIの活用により、 新たな社会の可能性をデザインする

札幌市立大学学長、公立はこだて未来大学名誉学長
中島 秀之氏



今回の政経フォーラムには、AIの研究を40年続け日本のAIの第一人者である中島秀之氏にお越し頂き、人工知能のできること、できないこと等、かみ砕いてお話をいただきました。

冒頭で「40年研究を続けてきて人間は素晴らしい、AIはなかなか追いつかないということを実感した」とお話し下さりAIに対する脅威を和らげて下さいました。

最近、変化の速度は確実に加速しており、AIにより人類は置き去りにされるのではな

いかと懸念されています。「情報処理技術は社会の仕組みを根本から変える能力を持っている。現在の情報化は、以前の社会の仕組みをそのままに、その一部をコンピューターに置き換えたに過ぎないので、情報処理の可能性を十分に使っていない。新しい社会の仕組みそのものをデザインすることが望まれる」と、「従来では実現不可能であった効率の良い社会システムが実現できる」とお話し頂きました。

AIが職を奪うという議論については、「人間は生活している、この世の中で生きている。ロボットとかAIとは決定的に違う。今後自分たちはどういう生活をし、AIの使い方をどのようにデザインしていくのが大事」と訴えられました。

そして思いつくことが一番大変で大切なこと、AIにはできないこと、「人間の持つ想像力」を発揮することが重要と締めくくられました。
詳細は「セミナー」に掲載します。